

【動力織り備後中継ぎ畳表生産プロジェクト in 福山大学ものづくり工房】

唯一現存の備後イグサ農家と備後表継承会の協働により、福山大学で生産開始

本学工学部建築学科の佐藤圭一教授は、唯一備後イグサ農家・高田圭太郎氏、備後表継承会（会長：佐藤圭一）と協働で、本学ものづくり工房「聚志館」において、2026 年 9 月 5 日より、希少な動力織り備後中継ぎ畳表（ブランド名：「備後三蔵動力中継ぎ畳表」）の生産を開始しました。佐藤教授は、本学地域連携担当学長補佐、建築学科長、神辺駅前サテライトキャンパス PJ リーダー、まつながる駅北ストリートキャンパス PJ リーダーなども務めており、本学の地域連携事業、建築学科開設 50 周年 2026 記念事業の一環でもあります。

プロジェクトの着想経緯と概要：

現在、イグサ・畳表生産は輸入（中国産）が 8 割、国産が 2 割（内 95%以上が今回被災した熊本県八代地域産）であり、日本建築文化の核心と言っている畳空間を継承するには心許ない状況です。イグサ・畳表の国産化推進と産地の多様性確保は、喫緊の課題です。佐藤教授は、本学着任（2015 年 4 月）以来 10 年にわたり、地元特産の希少な備後イグサ・備後表（畳表）の基礎研究と共に、地域協働で、希少な動力中継ぎ織機の再生プロジェクトや備後表のトレーサビリティ実証実験を実施してきました。実践研究としては 2018 年度住総研「備後中継ぎ表の織機再生と製織技術継承」（添付資料）の先行課題を通じて、商用レベルで稼働するものは世界に数台しかない動力織り中継ぎ織機の動態保存に成功しました。続く 2020～2025 年度 JSPS 科学研究費「藺草栽培を通じた備後表の生産・流通・設計・施工プロセスの解明」を通じて、再生織機を使って、備後表のトレーサビリティ実証実験（福山大学未来創造館茶室「育志菴」、蓮華寺本堂・持仏堂など）を 5 回実施し、藺草栽培と生産・流通・設計・施工のプロセスを実践してきました。研究成果として、それまで特定する一般用語のなかった「備後地域産のイグサを原料とした備後表（畳表）」に対して、「備後藺表（びんごいおもて）」という概念を提唱して、その普及啓発に努めています。2026 年には、旧西国街道神辺宿の 2 つの古民家（神な備一松本家住宅一、旧菅波邸 Café anjin）において備後中継ぎ畳表を施工しました。いずれも、2018 年度に設立した備後表継承会の会員企業や団体の協力を得て実施してきたものです。

本プロジェクトは、それら一連の基礎研究と実践研究を終えて、特に「中継ぎ」の特殊技術に着目して実装段階に入ったものです。比較的短いイグサの穂先を中央で継ぐ中継ぎの技術は、備後地域発祥とされ、備後地域で独自に継承されてきたものです。動力中継ぎの技術により、希少となった備後イグサを余すところなく使って高級畳表に仕上げて商品に付加価値を付けることで、農家支援に繋がります。

備後表継承のキーとなる研究開始当初からの構想であったが、イグサ農家・製織者と共に、絶滅危機の備後中継ぎ畳表の生産・流通・ブランド再構築をプロジェクト参加者らと実施する計画である。

なお、佐藤教授は、上記備後表の研究プロセスを通じて、伝統建材の原材料確保から製造機改良、流通・ブランド化、建築設計・施工までを一貫する「実践的臨地研究」という建築学における新たな研究手法を確立し、続く 2026～2030 年度科研費「備後柿渋の栽培・製造・流通・施工に関する実践的臨地研究」が採択されました。備後柿渋研究に関しては、2026 年 8 月 27 日に記者説明会を開催し、多数ご参加いただきありがとうございました。

【留意補足】 比較研究のため、動力中継ぎ織機の隣には、唯一の「手織中継表製作」選定保存技術保持者・来山淳平氏（福山市沼隈町）と共同製作した手織り中継ぎ織機を稼働する状態で展示しています（2023 年の選定保存技術認定に先立つ関連論文（佐藤, 2021）抜粋添付）。「手織中継表製作」は選定保存技術であり、文化財屋技術保存会（京都市）が「屋製作」とあわせ唯一の文化庁認定団体です。共にユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技」の構成技術の 1 つでもあります。手織り中継ぎ技術に関し、近年ネット上には過去の誤報や誤解を招く内容が流布し拡散していますので、参照の際にはご注意ください。

プロジェクト参加者：

1. 高田圭太郎（備後地域唯一の現存イグサ農家・屋表製織者）（広島県福山市西新涯町）
2. 備後表継承会（福山市本郷町）（以下、主な参加会員企業）
 - 2-1. 株式会社カネイ（屋表卸業者）、広島県福山市金江町
 - 2-2. マルエ株式会社（整経業者）、広島県福山市藤江町（熊本営業所：熊本県八代市鏡町）
 - 2-3. 株式会社山園織機製作所（織機メーカー）（熊本県八代市郡築）
（同経営）／2-4. 有限会社中村機械製作所（織機メーカー）（広島県福山市神島町）
3. 福山大学工学部建築学科（佐藤圭一研究室）／福山大学備後地域遺産研究会

2026 年度の生産予定（見学・取材は、要事前予約）：

2026 年 9 月 5 日（土曜日）（先行生産終了）（添付の 10/10-11 リビングフェスタの子ども広場に敷設）

2026 年 10 月 1 日（木曜日）～30 日（金曜日）原則、土日祝を除く 9:00～16:00（100 屋生産予定）

2026 年 10 月 18 日（日曜日） 三蔵祭（大学祭）と同時開催し 一般公開（予約不要） 10:00～16:00

2027 年 2～3 月 第 2 期生産（予定）

生産場所：

福山大学ものづくり工房「聚志館」 1 階テストセル
（広島県福山市東村町字三蔵 985-1）



本件に関するお問い合わせ：（農家や参加企業等への当初直接のご連絡はご遠慮ください）

福山大学工学部建築学科・教授 佐藤圭一

広島県福山市東村町字三蔵 985-1

TEL:084-936-2111(代表) （佐藤の携帯番号でも可）

Mail: keis@fukuyama-u.ac.jp



備後表継承会

広島県福山市本郷町 3020 アトリエ本郷内「蘭庵」

TEL:080-5710-1267（事務局専用） <https://www.bingo-igusa.com/>

添付書類：

- ・百屋製織実演チラシ
- ・動力中継ぎ研究論文 2019（抜粋）+手織り中継ぎ研究論文 2021（抜粋）
- ・10/10-11 開催「リビングフェスタ 2026」（ビッグローズ）チラシ両面

（以上）